



2001年9月11日の回想

あの出来事

9月は2001年9月11日の出来事を記憶によみがえらせる。: 人命の悲劇的な喪失、世界貿易センターとペンタゴンの破壊、ペンシルバニアで飛行機を着陸させた乗客の勇気、緊急対応要員の勇気。ここにリストアップするには、事柄が多すぎるが、我々には、生涯忘れられない一日になるだろう。

その後、何が起こったか

米国政府、組織、および個々の企業は、多数のアクションを取ってきた。危険な化学物質を取り扱う施設で働く者には、以下が含まれる:

- レスポンシブル・ケアにセキュリティ・コードを追加した; 他の貿易グループも同様の措置を講じている。
- CCPSは、セキュリティ脆弱性分析(SVA)の実施方法を記述した文書を発行した。この方法、または同様の方法を使用して、サイトのセキュリティリスクを評価することができる。ACCサイトは、2003年末までにこの作業を完了しなければならない。
- 数多くのグループが、化学工場のセキュリティに影響を及ぼす問題についてトレーニング講座を提供している。

あなたにできること:

警戒すること! 自分のエリアに誰がいるか、なぜそこにいるかを確認すること。その場に適切でない物に注意すること。
- 清潔で整頓された設備では、これを簡単に実現できる。

注意すること! 時間をかけて自分の職場を巡回すること。普段は見かけない物や人を積極的に探すこと。
-もし、不審な物を見かけたら、管理者やセキュリティグループに通知すること。

知らせを受けること! 自分の事業所のセキュリティ手続きを理解し、それに従うこと。サイトのアクセス制御システムに特に注意を払うこと。来場者や請負業者を含む全員が、これらのサイトの規則に従うべきである。

賢明にふるまうこと! この世界は非常に友好的でない場所になる可能性がある - 9月11日は、世界中の全ての人々にこのことを悲劇的に示した。我々は、個人として、自分の周りの行動や物事に対し疑問を持って見なければならぬ。

**非常に危険な物質が存在する区域では特に注意すること
これらの区域では不審物は、直ぐに報告すべきである**